

More United
心のつながりを探究し、

More Empowered
社会に力を生み出す

4月に10番目の学部 心理学部 開設

～心のつながりを探究し、社会に力を生み出す～

12年に開設された文学部臨床心理学科では、対人支援において有用なコミュニケーション・スキルを身につけた卒業生を輩出してきました。

この度、この理念を発展させる形で新たに心理学部を開設します。心理学を学ぶことで獲得できるコミュニケーション・スキルは心理的支援を要する場面以外にも、組織の一員として他者と円滑に協働することが可能となり、現代社会のwell-being促進の担い手として活躍できる人材の育成を目指します。

コミュニケーション・スキル

3年次以降では、社会のさまざまな現場で役立つ心理学的知識やスキルを養成するために専門発展科目として、「生涯発達カウンセリングプログラム」と「関係支援とコミュニケーション」を配置します。

「生涯発達カウンセリングプログラム」は、生まれてから亡くなるまで、乳幼児期、児童期、青年期、高齢期など様々な段階に応じた支援を行える人材を育成します。文学部臨床心理学科で柱としていた、ビハールを活かした高齢者支援にも力を入れます。また本学の学びの特徴である「関係支

援とコミュニケーションプログラム」では4つの分野を設定します。例えば00年代に入って引きこもりが社会問題化し、支援の現場に本人が来られない状態でどのように支援をしていくのかが課題になりました。このプログラムでは、本人への支援だけでなく、関係者を支援することで本人を取り巻く環境が改善できることを学んでいきます。福祉の現場や学習支援における教員との連携、虐待に対応する包括会議、新たに設定する産業メンタルヘルスにおけるビジネス現場など、チームでの活動が当たり前になる中、チームを活性化できるコミュニケーション・スキルを身につけることが目標です。

社会で活躍する心理学の学び

大学院に進学し、臨床心理士や国家資格である公認心理師といった対人支援の高度専門職を目指す道も力強く後押ししていきます。それに加えて、心理学の専門性を活かせる現場は社会のあらゆるところに広がっています。

近年、SDGsにも取り上げられている「ウェルビーイング (well-being)」が注目され、あらゆる人が心身ともに良好で、幸福に生きることが重視されています。医療や福祉

待望の滋賀県支部発足
～深草キャンパスで発足総会を開催～



12月18日、龍谷大学校友会滋賀県支部が発足しました。「えなかつたの？」と思われるかもしれませんが、司法はもちろん、多様な業種の企業、教育や行政といった現場においても、本学で培った心理学の知識やコミュニケーション・スキルは大きな力になるでしょう。

ん。これまで対象者が多すぎてなかなか煮詰まらなかったようなのですが、今回は発起人の熱き思いから一気に話がまとまり、あつという間に深草キャンパスでの発足総会の開催にこぎつけることができました。これもひとえに、校友会本部ならびに事務局関係者の皆さまのお力添えがあったことからです。この場をお借りして厚くお礼申し上げます。

お陰様で、総会当日は年末の多忙な時期にもかかわらず60名を超える参加があり、すっかり新しくなったキャンパスをめぐるツアーや、男声合唱団と混声合唱団ラポール

が合体して生まれ変わった「合唱団」による美しいコーラスを楽しんだ後、顕真館での総会に臨みました。

支部の規程が承認され、会長には長上深雪さん(84年文学研究科修了・元副学長・元社会学部教授)が選出されました。また、校友会の町田徳男副会長から支部旗が授与され、一同、滋賀県支部としての一步を踏み出す決意を新たにすることができました。

続いて入澤宗学長から「龍谷大学の今と未来」をテーマに記念講演をいただき、最後に応援リダー部から滋賀県支部の皆さんにエールが送られました。

総会のあとは、成就館(旧学友会館)のCafe Ryukokuで祝賀会を開催し、ヘルシーなランチボックスに舌鼓を打ち、コロナ対策を講じつつ久しぶりに会った学友や世代を超えたメンバーと交流することができました。

これから、滋賀県支部らしく、誰もが楽しみ合いうび合える活動を進めていきたいと考えています。なお、滋賀県にご縁のある校友の方の支部への参加を随時受けて付けております。是非ご参加ください！

龍谷大学校友会
滋賀県支部
事務局
安食真城

龍谷ミュージアム

春季特別展「真宗と聖徳太子」

親鸞聖人は、「和国の教主」としての聖徳太子に深く帰依し、晩年に至るまで太子を讃嘆する和讃「太子奉讃」を多数制作しました。そして聖徳太子像を傍らに安置し、聖徳太子に関わる法宝物の制作にも関与していました。この展覧会では、親鸞聖人の太子への篤い想いに触れるとともに、太子信仰の高揚に親鸞聖人と弟子たちが果たした役割を再確認します。そしてその後の門徒たちが生み出してきた太子信仰に関わる多彩な法宝物を改めてご紹介します。

木造 聖徳太子童形立像
南北朝・暦応4年(1341)
東京 西光寺

◆会 期:2023年4月1日(土)～5月28日(日)
◆休館日:4月17日(月)、5月1日(月)、15日(月)、22日(月)
◆開館時間:10時～17時 ※入館は16時30分まで
◆入館料:一般1,400円
◆問い合わせ:龍谷大学 龍谷ミュージアム
TEL: 075-351-2500
https://museum.ryukoku.ac.jp/



龍谷ミュージアム 無料で優待券

期日:2023年5月28日(日)まで
(同伴者1名を含め
無料でご入館いただけます)

2023年度
龍谷大学「心の講座」in京都

会場: 龍谷大学響都ホール校友会館

5月13日(土)
井上 見淳 氏 (龍谷大学社会学部准教授)
「『歎異抄』第5条を味わうー先立たれた方と私ー」

秋川 雅史 氏 (テノール歌手)
「夢のある人生」

6月17日(土)
橋村 公英 師 (華厳宗管長・第224世東大寺別当)
「心・行い・人となり」

中島 岳志 氏 (東京工業大学教授)
「死者の立憲主義」

7月29日(土)
平岡 聡 氏 (京都文教大学臨床心理学部教授、前学長)
「最も簡単に幸せになる方法」

旭堂 南雲 氏 (講談師)
「講談で触れる赤穂義士の心」

9月16日(土)
【前進黨】柳生 啓介氏、浜名 実貴 氏、津田 恵一氏
松本清張朗読劇「或る『小倉日記』伝」

一楽 真 氏 (大谷大学学長)
「世界を見る眼ー親鸞に聞くー」

会場: 大宮キャンパス東翼101教室

10月21日(土)
竹下 義樹 氏 (弁護士)
「弁護士としての40年ー初心を貫けたー」

柄本 明 氏 (俳優)
「柄本の演劇論」

主催: 龍谷大学校友会 龍谷大学校友会各支部 龍谷大学各学部同窓会

※ やむを得ない事情により、講師やテーマを変更することがあります。
※ 座席数の制限の中で開催することがあります。
※ 各回の内容、申し込み開始日や申し込み方法、オンデマンド配信などの情報は校友会ホームページで確認してください。
(お問い合わせ) TEL:077-533-1241
宮川印刷株式会社 2023年度龍谷大学心の講座: 受付係

「ありがとう紫朋館、紫陽館」 (特集は5ページに)

2023年度周年事業開催の支部(予定)

20周年	岡山県支部	2023年4月16日(日)	岡山県シンフォニーホール 吹奏楽部合同演奏会
20周年	奈良県支部	2023年6月3日(土)	薬師寺 みうらあかりさんの歌とお話 with龍谷大学マンドリンオーケストラ
20周年	大阪・中央支部	2023年6月17日(土)	ホテル日航大阪 総会&懇親会、講師: 李相哲先生
10周年	石川県支部	2023年9月16日(土)	ホテル金沢
30周年	岐阜県支部	2023年10月22日(日)	岐阜別院 総会&懇親会、吹奏楽部演奏会 講師: 入澤宗学長

※鹿児島県支部40周年事業は6月以降に開催予定

龍谷大学校友会 公式SNS

SNSを通じて色々な情報を発信していきますので、是非ご登録をお願いします。



Facebook



Instagram



Twitter



LINE

ボッドキャスト 煩クリラジオ | 煩惱とクリエイティビティ

龍谷大学校友会煩惱とクリエイティビティ



龍谷大学 校友会報



[校友総数 210,000名]
2023(令和5)年3月15日
第96号
発行=龍谷大学校友会
編集=校友会広報部会
https://www.ryukoku.ac.jp
京都市伏見区深草塚本町 67
龍谷大学内
校友会事務局
TEL075-645-2015 FAX075-645-2017



HP



LINE

龍谷賞受賞者、校友会の事業報告……2面
経営者登場「Who's Who、校友最前線」……3面
【新企画】親鸞聖人生誕850年に際し、その教えを聞く4面
「ありがとう紫朋館、紫陽館」……5面
学部同窓会、サークル、OBOG会の活動……6面
支部の活動、コラム、校友の著書……7面
仏教に学ぶ、校友のお店……8面

第33回 龍谷賞受賞者

社会に貢献し、顕著な業績をあげた校友会員(卒業生)に対し、「龍谷賞」「龍谷奨励賞」と、校友会員に限定せずに顕著な活動をされた方へ「龍谷特別賞」を贈っています。



龍谷賞贈呈式

また、22年4月の初防衛戦もTKOで勝利を収め世界王座を防衛。今後の更なる活躍が期待されます。

龍谷奨励賞

西林寺住職



安武 義修さん
(99年文卒)

僧侶仲間で結成した「J.S.R (Jodo Shinsyu-Rensyokai) の略」をテーマにグループで毎年行うカンボジアでのチャリティイベントによる教育支援や井戸建設費・維持費の寄付などの活動を01年から続けておられます。また、地元の吉塚商店街の再生や、「外国人との共生と共修」を目指した社会活動などにも取り組まれています。



谷口 将隆さん
(16年文卒)

龍谷大学史上初のプロボクシング世界チャンピオン。当時のWBO世界ミニマム級チャンピオンに11回TKOで勝利し、2度目の世界挑戦で見事王座を奪取されました。

校友音楽祭 ～今年も対面で開催～

面開催いたしました。

22年度のテーマは、「おもてなしの心」。

会場では、美術部あいちすと会OB製作によるオブジェの展示、お香の香り漂う空間、邦楽部の学生によるお箏の音色で来場者の皆さまをお迎えしました。



11月27日、龍谷大学響都ホール校友会館にて、新型コロナ感染対策を万全にしなが、今年も対

龍谷奨励賞

車いすフェンシング選手



藤田 道宣さん
(10年文卒)

21年東京パラリンピックに車椅子フェンシング日本代表として出場。また、22年7月上旬にポランドで行われたワールドカップ大会に出場し、男子個人エペとフルールの2種目で優勝し、2冠を達成されました。24年パリ・パラリンピックでの活躍が大いに期待されます。

龍谷特別賞

老練記 代表取締役



曹 英生さん
(79年経営卒)

03年から南京町商店街振興組合の理事長として活躍。阪神・淡路大震災では被災されながらも南京町に留まり、復興に全力を注がれました。また、コロナ禍では、経済活動を穏やかに活性化させる活動に懸命に取り組まれました。16年には長きにわたる日本での中華飲食文化の発揚に務めた功績が認められ、黄綬褒章を授与されました。

肩書は龍谷賞贈呈式が開催された22年10月現在のものです。龍谷賞は一般の方々からの推薦も受け付けています。詳細は以下のQRコードからご確認ください。



設置。ちびっ子たちが楽しく遊ぶ姿は心がなごみます。

出演は、3年ぶりの演奏となった吹奏楽部OB・OG会、学生とのコラボレーション演奏のマンドリンオーケストラ部OB・OG会の皆さま。練習もままならないはずなのに、その演奏は素晴らしく、あらためて龍谷大学卒業生の音楽性の高さを感じさせていただきました。

現役学生の吹奏楽部、輪舞曲(ロンド)はコロナ禍で未だ出演機会が少ない中、貴重な機会として澆渾とした演奏、演舞を披露してくれました。

総勢150名の出演者が集まった今回の校友音楽祭のファイナルは、全体演奏で「マッケンサンバII」。野



煩惱と共に生きるため、私たちの中にある「小さな煩惱」を社会のための「大きな煩惱」へ

だれもが抱える「煩惱」を、身近に「下真剣」に考える企画が校友会に新たな風を吹き込んでいます。21年度からスタートした「煩惱とクリエイティビティ」、通称「煩クリ」。一見するとマイナスイ

ホームカミングデー

3年ぶりの対面開催！龍谷祭は第100回記念！

瀬田キャンパス

10月29日(土)

龍谷祭も同日対面で開催されたため、多くの方に来場いただきました。

瀬田キャンパスには先端理工学部と農学部の理系学部が集まっており、見学・体験型のホームカミングデーを実施しました。当日飛び込みで見学を希望される方もあり、多くの方に瀬田キャンパスのプログラムを楽しんでいただけたように思います。来年度以降も瀬田キャンパスの特色を生かした見学・体験型のホームカミングデーを検討し、多くの方に楽しんでもいただける一日にしたいと思っています。

「紫明館」「紫陽館」の最終開放日ということもあり、思い出の建物をひと目見ようと訪れた校友の方々が、ホームカミングデーにも来ていただけたこともあり、約380名の卒業生が参加してくださいました。模擬店を楽しみながら家族連れ、広場で寛ぎながら仲間と昔のお話をされる方、笑顔が絶えない素敵なホームカミングデーになったと思います。



深草キャンパス

11月6日(日)

学生が主体となって企画・運営する龍谷祭。対面開催が叶わなかった3年間の代償は決して小さくありませんでした。龍



メージにとらえられかねない「煩惱」を適切に創造的に発展させ、社会のプラスにしていこうとを考えた校友会のリサーチユニットで、若手の校友会員を中心に取り組んでいます。2年目となる22年度は、「トークイベント」「ラジオ番組の配信」「体験ツアー」の3本の企画を推進、展開しました。

◆トークイベント
トークイベントは、料理人・飲食プロデューサーの稲田俊輔氏、コンテナークリエイター・文筆家の藤原麻里菜氏、ローカルクリエイティスト(地域活動家)の小松理度氏という各界で活躍されているクリエイターを招いてトークイベントを展開しました。仏教者との対話の中から、ゲストの抱える煩惱を経験した学生がどんな卒業していく状況に、大学としても「運営の伝承」を学生にさせてあげたいという思いがこもった龍谷祭でした。

校友会としてもコロナ禍での龍谷祭を盛り上げる一助になればという思いで、コロナ前に開催していた密にあたる催しを開催せず、校友の皆さまにも純粹に今の大学を見ていただきたいという思いで企画しました。

第7回総会

12月3日、京都の香老舗「松榮堂」にて第7回総会をハイブリッド形式で開催いたしました。

15支部の卒業生18名と支部から選出の8名の龍谷小町役員が対面またはオンライン上で集まりました。

校友会女子会「龍 Ron 小町」

10月23日、阪神支部「神戸モダン塾」協賛企画の「秋バラの須磨離宮公園散策」を開催いたしました。各々園内を散策した後、園内にてバラを育成されている方にガイドをお願いし、お話を聞きながら、園内を散策。参加者は多種多様なバラを眺めたり、香りを嗅いだりしながら楽しい時間を過ごすことができました。

また、総会開催後には、松榮堂の常務取締役、畑利和様(74年経営学部卒)にお香の歴史や種類、調合などについての貴重なお話をいただき、素敵な学びの場となりました。参加者には、龍 Ron 小町のオリジナル記念品「匂い袋」をプレゼント。この「匂い袋」は、23年度に各支部で開催する龍 Ron 小町のイベントでも配付する予定です。お住まいの地域の龍 Ron 小町の開催案内をご確認ください。



に開催された全国校友大会において煩クリミステリーツアーとして実施しました。内容はミステリーなので、実際に参加されて体感いただきたいと思っています(全国校友大会の記事については前号を参照してください)。

◆ラジオ番組
ラジオでは、より気軽に仏教を学びなおし、より身近に深く煩惱を感じていただく機会として「ほどこける仏教」と「まみれる煩惱」の2番組を開始。「ほどこける仏教」は「日々の暮らしのなかにある『小さな仏教』を発見し、見つめなおそうとする番組」。まみれる煩惱は、「煩惱とクリエイティビティ」研究員(校友会員)がゲストと共に、人間誰もが抱えるモヤモヤや煩惱にまみれながら語りあう番組です。22年度は、全3回の番組を配信しています(22年2月時点)。

◆体験型ツアー
体験型ツアーでは、7月

校友ならだれもが学んだ「仏教の思想」を今一度、生活の中で捉えなおしていただき、今を生きる糧となるヒントをこの「煩クリ」から探ってみてはいかがでしょうか。

山口県支部
10月23日秋晴れの中、しもせりんご村(山口市阿東徳佐)において、「りんご狩り&BBQ懇親会」を開催いたしました。校友のご家族やお友達も含め、1歳から81歳まで総勢27名の幅広い年齢の皆さんが、県内各地から集結しました。懇親会では、「第1回龍 Ron 小町杯」紙飛行機とばし大会を行い、副賞を狙って老若男女が大いに盛り上がりしました。



経営者登場

桑田 隆晴さん
(81年経済卒)

株式会社グリップインターナショナル
代表取締役 社長

プロフィール
大阪市出身。株式会社ワールドを経て01年5月に神戸三宮にゴルフウェアの企画販売を手掛ける株式会社グリップインターナショナルを設立。現在主要都市の百貨店、ゴルフ専門店、路面店マーケットごとに8ブランドを展開する。3月には六本木ヒルズにブランド「Heal Creek」のフラッグシップストアをオープンする。

成長すればリタイアなし



長い歴史に幕を閉じた旅行研究会（再興できたら最高です）。1回生の時のテーマはなぜか「歩くで、一日中バックパックを担いでマメができた足で尾瀬白河を歩いたことは大きな思い出です。旅行研究会という名のイメージとは違い、レガッタで優勝するなど硬派な先輩が多く、学生時代の多くを畳敷きのクラブBOXで過ごしていました。現在も起業される卒業

ゼミは宮永先生の経済政策で、卒論は当時注目されていた代替エネルギーでした。新しくなったゼミ室での議論や合宿など、有意義な時間を過ごせたと思っています。サークルは、残念ながら

当時の人気業種のアパレル業界で、若くて成長企業だった株式会社ワールドに入社しました。ワールドはアパレルとしての華やかさと共に礼儀を重んじる企業風土でした。お取引引き頂く小売店さんや百貨店さんだけでなく、作って頂くメーカーさんやいろいろな納品業者さん、物流業者さん、掃除をして頂く方など出会った人すべてに大きな声で心から挨拶するように教育されました。真面目に正しくは龍大に似ているよう

可能性のトップへ

生や在学生が多いと聞いていますが、サークルの先輩も塾や自転車屋、広告宣伝の会社を起業されるなど、今思えば独立心は強かったなと思います。サークルの同期も介護施設や養毛の会社を起業しています。

可能性のトップへ

学生時代にはあまり感じませんでした。この年になって学生時代の友人や新たに出来た同窓の輪を充実させる風土を創って頂いていると感謝しています。

可能性のトップへ

まで、小さな資本とほんの少しの銀行ローン、事業プレゼンテーションで評価頂いた大手商社のファイナンスで、経費を必死に抑えて事業を遂行していました。ありがたことに、アパレルのベントチャーとしてよいスタートを切ることができ、その後は海外への輸出取り引きやイタリアブランドの日本総代理店、新ブランドの展開、ライセンス事業、EC事業などへ参入し事業運営を行っていました。

会社はチームで創るもの

現在は若いメンバーを中心に、10年後を見据えた事業展開を始めている真つ最中です。サークルでのバスツアーもそうでしたが、ワールド時代の事業運営、起業してからの経営でもチームですることを心がけています。一人の能力で引っぱるのではなく、多くの能力を持つ協力者と共に事業を遂行することが大切であると考えています。新入社員にも必ず「会社は一緒に創るもの」と話して

会社はチームで創るもの

います。もちろんチームで行っていても、決断と責任は社長一人と考えていますし、そのように継承したいと思っています。

会社はチームで創るもの

好きな言葉は「成長」。若い人材を登用していますが、「成長すればリタイアなし」は多くの人と共に歩む基本概念です。私や私たちの会社を取り巻く企業や人とのコラボレーションにより、私たちの創るブランドを着て頂くことで、お客さまの喜びをより大きくすることを目標にしています。

会社はチームで創るもの

私を伝えました。同級生は、私から言うまで「キャプテンをやつてとは言わない」と決めていたようです。大学ではなんでも自分たちで決めなければならず、決断することに悩んだこともありましたが、人として成長することができたと思います。キャプテンとはいってもなんでも自分で決めて、なんでもできるわけではありませぬので、同級生や後輩にも意見を聞き、みんなでチームを作り上げていきました。

会社はチームで創るもの

座右の銘は、小学生の時のコーチ（監督の娘さん）がおつしやった「ピンチの時こそ笑うが勝ち」という言葉です。大学4年生の時に勝てない試合が続きましたが、キャプテンの私がしんどい顔をすると周りに悪影響を及ぼすと思い、笑顔で鼓舞していました。点数は不利でも自分たちのバレーボールをすれば勝てるかもしれない。今もこの言葉を大切にしています。

会社はチームで創るもの



校友最前線

デンソーエアリービーズ
福留 慧美さん
(20年経済卒)

プロフィール
京都市出身。小学生の時、姉の影響でバレーボールを始める。現在、V.LEAGUE DIVISION1のデンソーエアリービーズでリベロとして活躍。22年バレーボール女子世界選手権日本代表のリベロとして日本のベスト8入りに貢献。

ピンチの時こそ笑うが勝ち

小学生の時、姉の影響でバレーボールを始めました。中学生まではスパイカーでしたが、身長が低かったため高校からリベロになりました。「身長が高ければスパイカーとして活躍できたかも」と思ったこともありましたが、今は良かったと思っています。リベロは攻撃に参加できない守備専門

の難しいポジションですが、自分が目立つよりスパイカーやセッターに活躍してもらえれば良いと考えています。見ている人には分からないようなボールに関わらないところでも、自分が納得のいく動きをしたいと思っています。とはいえ、プロックフォロワーで、決まった位置で待つ必要があると思います。相手のブロックを拾った時など、相手を見上げて「ヨッシャー!!」と思っています(笑)。

龍谷大学で印象に残っている出来事の1つは、キャプテンを経験したことです。同期5人のうち、3人で、私がキャプテンをやらなければならぬと思っていました。特に、あれこれ考えてばかりで結論を出せずにいました。そんな時、試合の応援に来てくださった3学年上の先輩から「不安があることは分かるが、起きていないことで悩んでも意味がない」と言われて決意し、自分の言葉で同級生にキャプテンをやること

を伝えました。同級生は、私から言うまで「キャプテンをやつてとは言わない」と決めていたようです。大学ではなんでも自分たちで決めなければならず、決断することに悩んだこともありましたが、人として成長することができたと思います。キャプテンとはいってもなんでも自分で決めて、なんでもできるわけではありませぬので、同級生や後輩にも意見を聞き、みんなでチームを作り上げていきました。

座右の銘は、小学生の時のコーチ（監督の娘さん）がおつしやった「ピンチの時こそ笑うが勝ち」という言葉です。大学4年生の時に勝てない試合が続きましたが、キャプテンの私がしんどい顔をすると周りに悪影響を及ぼすと思い、笑顔で鼓舞していました。点数は不利でも自分たちのバレーボールをすれば勝てるかもしれない。今もこの言葉を大切にしています。

校友 Who's Who

社会福祉法人わらしべ会
理事長 辻 和也さん
(89年文卒)

「社会福祉法人わらしべ会」に就職。以来30年以上障がい者の支援を続けている。欧州では理事長としてグループホームを開設し、また就労支援や生活介護など、障がい者を地域と共に支える事業を展開している。

ワクワク楽しい生活を



大学では野外活動認定同好会（現 野外活動部）に所属していました。キャンパス内の勧誘ブースで勧誘されたのですが、フレッシュマンキャンプでレクリエーションをされていた先輩の印象

もあって「楽しそう」と入部しました。近くの子どもたちとキャンプをするなど、野活中心の学生時代を送っていました。就職活動の際、父親に「ネクタイを締めて仕事を着てできる仕事がいい」と相談したところ、短期大学部社会福祉科の教授が遠い親戚だと教えてくれました。教授の所に挨拶に行つて相談し、「わらしべ会」を紹介していただき、私は教育学専攻卒でしたので、障がいのある方がどうい

うか分かります。社会福祉士や介護士などの資格ができたのもこのころで、福祉についての書籍も少なく、現場で教わるしか方法はありませんでした。仲間にも恵まれ、仕事を慣れるのは早かったと思います。

社会福祉法人わらしべ会は81年に医師によって創設されましたが、それ以前に肢体不自由児の訓練方法としてハンガリーのペトウシステムを導入し、わらしべ学園でその実践をされていました。医師は代々柔道家の家系で、柔道療育、障がい者乗馬などユニークなプログラムを実践されてきまし

た。私もそれまでやったことのなかった柔道に取り組むなど、障がい者スポーツに携わることにになりました。医師はスリッパの並べ方や電気の消し忘れ、柔道着の乱れなど、人としての在り方にとて

も厳しい方でしたが、その教えは今も受け継がれています。

30代から40代の頃、障がい者柔道の引率でヨーロッパ各国に行きました。そこで、日本とは違う福祉に触れることになり、やる気になったととも、ヨーロッパの福祉を取り入れたいと強く思いました。日本の障がい

者スポーツは競技に限定されており、例えば柔道であれば受け身ができる必要がありますが、ヨーロッパでは例えば受け身ができなくても、できることがあるのならやったらいいという考え方で、間口がとて広いんです。今でいうノーマライゼーションでしょうか。

その経験からか、若手職員の育成を目的として、ケニアで医師が作った施設に研修に行つても良かった。ホノルルマラソンに参加する障がい者引率者として同行して現地に行き、障がい者の



【新企画】親鸞聖人生誕850年に際し、その教えを聞く
入澤学長「問わず語り」



イラスト 宗教部 小西智子

科学と宗教は、車のアクセルとブレーキの関係
今からちょうど100年前、アインシュタインが来日されました。アインシュタインは多大な功績を残されましたが、実は仏教に非常に関心を持っておられた方で、科学と親和性のある宗教は世界の中で仏教が一番であると言っていたようです。そして、あまり知られてはいませんが、来日の折、浄土真宗の僧侶と面談したとのことでした。

科学と宗教は非常に遠いものであると受け取られがちですが、本学は創立350年の時に瀬田キャンパスを開設し、「人間・科学・宗教」という標語を掲げ、仏教系大学初の理工学部（現在の先端理工学部）を設立いたしました。

近代以降、科学技術、科学の発展によって、我々は便利さを享受しているのですが、時に科学が暴走し、例えば戦争状態で使用される兵器などは科学によって生み出されたものです。その科学の暴走を止める役割を持つておかなければ、文明は滅びに向かつて直進することになります。車にアクセルとブレーキがあるように、人間社会においてもアクセルとブレーキが両方必要です。そして科学をどんどん進化させるのは、人間の知性の働きです。その人間の知性にメスを入れることが仏教の大きな役割です。大学というのは、教育研究の場であり、当然知性の働き、知性の営みが前提となります。しかし、人間が持っている知性というものは、必ず自己中心性、自らの都合が入り込んでいます。その知性を常に検証していくことが必要になります。

『三人寄れば文殊の智慧』の意味するところ
仏教の底流には、その人間の持っている知性というものに対して懐疑的になり、そして「果たしてこのままでいいのか」と

自己を省みるということの流れにあります。とりわけ本学の建学の精神、浄土真宗の根源にあります。親鸞聖人は、私たちの知性というものの、人間の知恵というものの、それは不完全なものであるということ、それを強く打ち出しておられます。

日本の格言に『三人寄れば文殊の智慧』があります。文殊というのは、仏教の智慧を象徴する偉大なる菩薩です。人間一人の知恵、知性は不完全なものであるから、一人ではなく三人寄るといふこと、つまり自分の考えや思考と違う人と寄り合うことで少しでも文殊の智慧に近づく。この「三人寄れば」というところに注目したいと思います。

今、SDGsが強く打ち出されています。地球の危機、人類の危機、このまま文明が進化していくならば、地球に大きな負荷をかけ、人類が生み出した科学の進化が、逆に人類を滅ぼしかねないような事態を招いている。そうした危機感から15年、国連からSDGsが発出されたわけです。私たちがこれまでどれば地球のことに意識を向けていたか、ここでも3つの段階というものを考える必要があるかと思えます。私たち人間が存在できているのは、地球があつたからこそです。その地球に社会があり、そ

ける社会を成り立たせているのは個人です。従って、SDGsというのはまず地球の危機に対応しなければなりません。そして、社会の在り方、さらに我々個人個人の生き方、という3つのレベルを考えておく必要があると思います。

先般、本学で「学生気候会議」が開催されました。各学部から数十名の学生が集まり、グループに分かれ、課題を見出して非常に活発な議論が交わされました。

本学では仏教とSDGsを結び付け「仏教SDGs」を打ち出していますが、学生がそれに呼応し、今の自分に何ができるかを本気で考えています。その姿を見るにつけ、自ら未来を担うのだという意識を持つて、これからの社会をどのように組み立てていくか、どこに問題があるかを真剣に考えてくれる学生のみならず、今、本学を牽引してくれていると思います。

創立380周年の時に「自省利他」を打ち出しました。自らを省みる、仏様の教えに照らして今の自分を省みる。人は往々にして自分の考えが一番正しいと思う。そうすると、自分の考え方とは違う人を間違っていると思ひなして排除しがちになります。そうではなく、自らの考えを検証すること、これは、自分の考えは間違っているかもしれないという立場に立つことです。なかなかそうは思えないのが現実ですが、『歎異抄』の中にこういう言葉が載っています。

『まことに、如来の御恩ということをば沙汰なくして、われもひとと善悪（よしあし）ということをのみ申しあへり』。

本当に私たちは、如来の御恩がどれほど尊いかを問うこともなく、いつもいつもお互いに善いとか悪いとかそればかりを言い合っています。つまり、悪いのは相手、善いのは私という見方。争いというのは、実はこのような見方から起きてくるのです。先程申し上げたように、『三人寄れば文殊の智慧』という格言、少なくとも私たちが生きているこの社会において、私が正しいという思い、それを異なった角度から見ると、側面から見ると必要になってきます。

イタリアの物理学者であるカルロ・ロヴェッリは、著書『世界は「関係」でできている』の最後に次のように記しています。

「事物は互いに繋がっていて互いを映しあい18世紀の冷たい力学に捉えられなかった明るい光を放っている。」つまり、物事は繋がりがあつてい

いうことをこの本は強く主張しています。「縁起」「縁」によって起こっている、関係性で成り立っているということは、ブツダ、お釈迦様がすでに説いたことでもあります。

現在、龍谷大学も「繋がりの」ということを強く打ち出しているわけですが、一人一人が繋がりが合っている、全てのものは繋がりが合っている。決して自分一人が孤立しているというふうなあり方ではなく、繋がりがあつて

いることを認識しつつ自らの考えを常に検証していく。皆さんの日常がそういう日々であることを願っています。

（22年12月13日学長法話より）



海外で活躍する校友
フィンランド放送交響楽団
トランペット奏者
さくらぎ あつこ
櫻木 厚子さん

プロフィール
龍谷大学では吹奏楽部に所属。01年経済学部卒業後、同年京都市立芸術大学にトランペット専攻で進学。その後、スウェーデンのイエーテボリ大学、ドイツのケルン音大に進学し、ドルトムント歌劇場の管弦楽団とフライブルクの南西ドイツ放送交響楽団で1年ずつインターンシップとして経験を積む。2009年から北欧の名門フィンランド放送交響楽団に入団、現在に至る。2012年度 龍谷奨励賞を受賞。

をしつつ仕事ができると思います。毎週演奏会がありますので、その都度演目が変わり練習を重ねます。楽団でのリハーサルは1日に4時間。それ以外の毎日の個人練習も欠かせません。

コロナ、戦争の状況下での演奏活動
コロナ禍でコンサートがキャンセルになったこともありました。放送局のオケなのでTV生放送、無観客で毎週コンサートは続けていました。フィンランド政府の対応も信頼できるものでしたので、生活に不安はありませんでした。

今年のウクライナへのロシア侵攻後、町の中には支援物資の集積場があり、至る所にウクライナ国旗が掲揚されるなど、とても身近に戦争を感じます。楽団として、ウクライナ人作曲家の曲をプログラムに取り入れたり、色々な場所でも多数のチャリティコンサートを実施しています。

今後の夢
20年5月に予定されていた日本全国7公演のツアーがコロナの影響で中止となってしまったので、いつの日か日本公演が実現することを望んでいます。その際は龍谷大学の施設でソロ演奏会もしたいですね。



写真は2022年8月に憧れだったロンドンのBBCプロムスで演奏した時

特集 「ありがとう紫朋館、紫陽館」



紫朋館

紫陽館

現在の紫陽館

紫陽館(2004年イヤーブック)

深草キャンパスの課外活動の拠点として長年に渡り使用されてきた紫朋館・紫陽館が、老朽化かつ旧耐震建造物のため、学生の安全確保を目的に取り壊されることになりました。

大学生活の多くを課外活動に費やしてきた校友にとつては、紫朋館・紫陽館に対する思い入れもひとしおであることは想像に難くありません。

そこで、11月6日(日)のホームカミングデー(深草)の1日限定で、校友に対して紫朋館・紫陽館が開放されました。

当日は、紫朋館・紫陽館の姿を目に焼き付けようと、多くの校友が訪れました。青春時代を過ごした懐かしの部室を訪れ、久しぶりに会った同級生や先輩・後輩と当時の思い出を語り合ったり、写真を撮ったりされている姿がありました。

楽しかった思い出だけではなく、つらかった思い出も今では笑い話として「あんなことがあったなあ」と話す校友の笑顔を見て、紫朋館・紫陽館には確かに多くの校友の青春の1ページがあったのだということを思い出した1日でした。

来館された方々にお話を伺っていると、

■この日にあわせて皆で集まったサークルの団体

■「紫朋館にひとこと御礼が言いたくて、そのために東京から来ました。」という校友

■壁に描いた落書き、まだ残っている！」と盛り上がり上がっている方々

■「ここで出会って結婚したんです。」という龍大卒業生同士のご夫婦

そんな方々から紫朋館での思い出を寄稿いただきました。

アメリカンフットボール部

大田隆一郎さん（93年経済卒）

「ブー…」無機質なブザーの音がBOXに鳴り響く。体育局本部からの呼び出しだ。音を聞くと、否やBOXを飛び出し本部のある部屋へ急ぎ足で向かう。道中ドキドキしながら本部の扉前で深呼吸：「トントン」

「はいいいい…！」

室内からドスの聞いた声が…。

扉を開け閉めして室内に入り、「アメリカンフットボール認定同好会1年生、大田です！」

元氣よくハキハキと大きな声で。

声が小さいと「やり直し！」となるので必死のパッチで声を張る。

通達内容を書面や口頭でいただいてBOXに戻る。あの30数年前の記憶が走馬灯のように甦った。22年11月6日。

取り壊しになる紫朋館の一般開放の日。

体育局本部の室内にあったブザーを卒業以来交流のある仲間達と

「これ鳴るんかいな？ BOX行ってみるわ…」

ブザーを押してみる。

「ブー…」

BOXから戻ってき仲間が「これ鳴るやん！現役やん」テンションが上

アメリカン
フットボール部

ワンダー
フォーゲル部

劇団未踏座

黄色い銀杏の木。

法学部同窓会

法学部と法学部同窓会の共催事業として、今年度は4回に分けて、島津ゆう子先生には、話し方のこつとマナーを、涌井美和子先生には、ハラエスメント関連知識を、卒業生の弁護士・司法書士・社会保険労務士・行政書士の資格者には、その実態についてお話をいただきました。

昨年度までのオンラインと違い大学の教室を使つてのリアルな講義形式でしたので、学生側からの積極的な質疑や個別相談などもありました。来年度以降も法学部と相談の上、学生のためになる事業を開催してまいります。

(会長 成松重人)



島津先生 涌井先生

経済学部同窓会

11月3日(木)に深草学舎で「第7回ビジネス・ミーティング」(共催:龍谷大学経済学部)を開催しました。

第1部の基調講演では、日本マイクロソフト株式会社元業務執行役員 澤 円氏による講演「『自分の人生を生きる』ために一番大事なこと」と題して開催しました。澤氏から、自らの経験を元に自分の人生を生きるために何を大切にしているかなどをお話いただきました。

第2部ではパネルディスカッションを行い6名のパネリストで、プレゼンテーションのこと、就職に関する事など、多岐に渡り討論を行い、在学生、教職員を中心に対面70名、オンライン90名の計160名が参加し、参加者からは多くの質問が寄せられました。

(会長 田中正勝)



文学部・短期大学部同窓会

大宮学舎は、本館・北翼・南翼等が「重要文化財建築群」の指定を受けています。また、夕刻から夜間にかけてライトアップが行われ、観光スポットとしても有名です。このライトアップは、96年に大宮学舎改修工事の完成を記念して、文学部・短期大学部同窓会がライトアップ導入に伴う設備費と電気代を大学に寄付し、実施されています。一時、省エネ施策の推進や東日本大震災による節電の取り組みなどにより、中断あるいは規模が縮小された時期もありましたが、15年には、省エネに対応したLED照明に機器を更新し、その費用も文学部・短期大学部同窓会が寄付しています。

この取り組みは、市民への龍谷大学に対する認知度向上、在学生・卒業生の帰属意識の高揚にも一役を買っているほか、22年度に3日間実施された「大宮図書館24時間開館」の際にも終夜ライトアップが行われるなど、大宮キャンパスの防犯安全にも役立っています。

(会長 赤松徹真)



同窓会の報告とご案内

11月26日、経営学部林昭ゼミ同窓会(89年卒)を対面では3年ぶりに京都で開きました。卒業以来、毎年開催してきた同窓会も34回目を迎えました。ここ数年はコロナ禍でオンライン開催となりましたが、今年は91歳を迎えられた林昭先生を囲んで久しぶりに対面で盛り上がりました。高齢になられても、毎年、同窓会に出席いただいている林昭先生曰く、久しぶりに資本論を読んでみたところ眠たくなったと……そのご年齢で資本論を読んでみようと思われることにゼミ生一同驚嘆しました。これまで途切れることなく続いている同窓会、年齢を重ねるにつれ話題もかわりますが、思い出を共有できる友や同窓会の支柱となる恩師との大切な時間を、これからもみんなで紡いでいきたいと思っています。

(89年経営学部卒
林昭ゼミ同窓会)



ゼミやクラブ、サークルなどの同窓会を校友会ホームページの読み物コンテンツ「校友 KIKOU」に寄稿されませんか。

- 校友からの「寄稿(キコウ)」
- 校友への「紀行(キコウ)」
- 校友に「聞こう(キコウ)」

校友KIKOU



3つのキコウが集まって出来るのが「校友「KIKOU」」です。
※この記事は、校友会HP「校友 KIKOU」にも掲載しています。

写真部OB・OG会の活動報告と記念行事の告知

6月28日、写真家の井上博道記念館のオープン記念に、お祝いを兼ねて訪問しました。

井上博道先輩(1931年〜2012年)は、54年文学部史学科を卒業、現役の時から作家司馬遼太郎氏と親交を深めておられました。

入部を誘ったのは聖護院門跡門主の宮城泰年先輩。一人はいずれも龍谷賞を受賞された写真部の誇りです。



※詳細は「井上博道記念館」で検索
<https://www.asa-ban.com/him/>
場所: 奈良市中登美ヶ丘2丁目 1984-31
【写真部創部90周年記念行事告知】
10月22日(日)に90周年記念行事を計画しています。
連絡先 jun111952@gmail.com
TEL 090-1952-3549
事務局: 芦田淳一



古都の師走の恒例

龍吟会吟詠発表大会を開催 龍吟会

龍吟会は来年、創部60周年



12月4日、龍谷大学響都ホール校友会館にて開催。この好機を通じて、日本文化のひとつである詩吟の研究活動の成果をお互いに発表しあうことによりコミュニケーションを図ると共に、広く学外の方にもPRすることにより、その存在意義を再確認していただくことは実に価値あるものと思われ、開催したものです。

大会当日は、龍吟会OB・OG以外にも、関西大学や桃山学院大学詩吟部OBの方々にも賛助出演していただきました。

また、龍谷大学校友会本部の樽井博監事も出演してくださいました。

今回は新しい試みとして、龍吟会の部員が創意工夫した「中国舞踊と吟(清平調・李白作)」と題して、留学生呉雨笙さんが舞うなか部員が吟じました。

また、令和四年から交歓が始まった岡山大学吟詩部の学生吟士も出陣及び剣舞を披露してくれたり、盛りだくさんの内容となりました。

加えて、我等が龍谷大学放送局の学生諸君の司会進行や、邦楽部・落語研究会の学生達も賛助出演して大会を盛り上げてくださいました。

今後はこの大会が京都の暮の風物詩となるよう、部員と共に努力していきたいと思っています。

(龍吟会顧問 半田一清)

校友会、各学部同窓会の21年度決算書は校友会ホームページでご確認いただけます。



(支部長 大原延恵)

支部の活動(報告)

東京支部

2月4日(土)築地本願寺にて、文化のつどい(落語会)・新会員歓迎会を開催しました。

プロで活躍中の落語家の桂優々さん(09年文卒)、雷門音助さん(10年経営卒)の2人の東西落語を約50名の校友・家族・友人が堪能しました。

「ライブは、やっぱりいいですね」「はじめての生の落語でした」との感想をいただきました。

ボクシングの竹迫司登チャンピオン(19年度龍谷特別賞受賞)もご家族で参加。写真撮影も盛り上がりました。無料のイベントは、これからも開催予定です。

矯正・保護支部 ぎんなん会

2月4日(土)深草学舎において「令和4年度臨時研究会」を開催しました。ぎんなん会は矯正・更生保護官署に勤務する現役職員及びOBで組織していますが、近年コロナ禍のため十分な活動ができいていませんでしたので、久しぶりの開催となりました。

研究会には、ぎんなん会員のほか、学生、教職員など総勢26名の参加を得ることができ、中部地方更生保護委員会西岡総一郎委員長から「更生保護の課題と展望」と題するご講演をいただきました。

近年我が国の治安は比較的に安定していますが、刑事政策上の現下の最重要課題である再犯防止のための取り組みについて、新たな知見を得、認識を深めることができました。

今後は、コロナ禍で失われた会員同士の交流と親睦を図るため、更なる活動を予定しています。

本年夏の総会では、職務に関わる講演と懇親会を計画していますので、多数の会員の御出席をお待ちしています。

(副支部長 逢坂俊夫)





社会学部 准教授
井上見淳 (01 年文院了)

コラム

今も使える
仏教用語

「ありがとう」

学生がまじめな講義に飽きてきた頃、こんな話をすることがあります。それはもう15年以上前の友人の結婚式でのこと。大いに盛り上がった祝宴の最後に、ご挨拶された新郎のお父さまは、多くの来場者へ、スピーチをされた方へ感謝の辞をのべると、次のようにおっしゃいました。

「本日、たまわったスピーチでは、お互い感謝することが結婚生活には大切だと、口々にお言葉を頂戴しました。私も長年、結婚生活をつづけてきた身として確かにそう

思います。ところでみなさん、感謝の言葉といえど『ありがとう』ですが、ありがたうの反対を存じですか？」突然の会場への質問に、一瞬の静寂のあと、アルコールでほどよくほぐれた会場各所から、「さようなら！」「ありがたくな

そうなんです。『ありがとう』は漢字で書けば「有り難う」ですが、本来は「有り難し」。つまり「滅多に起こらない、きわめてまれだ」という意味なのです。ですからたとえば、親鸞聖人には

浄土真宗に帰すれども 真実の心はありがたし 虚仮不実のわが身にて 清浄の心もさらになし (正像末和讃94)

えに帰依しているけれども、私にはまことの心などあり得ない。嘘いつわりばかりのわが身であり、清らかな心などあるはずもない」とおっしゃっているのです。

ところで、そう考えてみたとき、今、自分が置かれている状況は、はからずもさまざまな縁がととのい、まわりの方々のご厚意によって成り立っているのだ。滅多に起こらないことが、今わが身におこっているのだと感じた人が、「有り難い」と口にするのです。置かれている状況を「当たり前

だ」としか思っていないものは、「有り難い」と思っていないから、有り難うとは言わないわけです。感謝の度合いがさらに強まれば「大きに有り難う」という表現になります。関西では、この「おおきにー」の部分だけで感謝を伝える素敵な言葉もありますね。

この度、ハワイ別院では龍谷大学から学生の皆さまをお迎えするとう、大変うれしいご縁をいただきました。龍谷大学 BIE Program とは、米



国・バークレーで実施する英語学習、ボランティア、講義を組み合わせた留学プログラムですが、コロナや物価高騰などの事情により今回はハワイで実施されました。

翌日は、ハワイ別院のサンデーサービスにお参りくださいました。日本語・英語の礼拝をととも熱心に聞いてくださり、胸があたたかくなりました。礼拝を通しての感想や率直な質問をしてくれる学生の皆さまに、様々なことに探求心を持たれ

出演者全員が龍谷大学関係者。OBはミカコハサウェイさんの想いのこもった弾き語り、熊谷正明さんの昭和歌謡曲を織り交ぜてのサックス演奏に盛り上がり、マンドリンオーケストラ部OB・OG会のみなさまの演奏に聴き入りました。

現役学生は、吹奏楽部が40名の大所帯ですが、演奏で、龍吟会の学生さんの初々しい詩吟もよかったです。応援リーダー部の3人は卒業生に向けてエールをきつてく

福岡支部と北豊支部は、10月21日に「福岡県民の集い」として3年ぶりに対面での交流会を開催しました。

11月19日、龍谷大学深草学舎和顔館にて第5回定時総会を開催しました。

『私が見たアラーだったところ 統合失調症の母とともに』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『夜之都』

大坂・中央支部「ミュージックフェスタ in 大阪」

福岡県民の集い

龍志会 設立5周年 第5回定時総会

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

支部の活動(報告)

ハワイ支部

龍谷大学 BIE Program in Hawaii の学生の皆さまをお迎えして

国・バークレーで実施する英語学習、ボランティア、講義を組み合わせた留学プログラムですが、コロナや物価高騰などの事情により今回はハワイで実施されました。

学生がまじめな講義に飽きてきた頃、こんな話をすることがあります。それはもう15年以上前の友人の結婚式でのこと。大いに盛り上がった祝宴の最後に、ご挨拶された新郎のお父さまは、多くの来場者へ、スピーチをされた方へ感謝の辞をのべると、次のようにおっしゃいました。

「本日、たまわったスピーチでは、お互い感謝することが結婚生活には大切だと、口々にお言葉を頂戴しました。私も長年、結婚生活をつづけてきた身として確かにそう

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

福岡県民の集い

校友の著書

『私がヤングケアラーだったところ 統合失調症の母とともに』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

『安全運転寿命を延ばすレッスン 最愛カーライフをいつまでも！』

地図アプリに導かれて、岡山駅から岡山市役所の方へ向かって細い通りを歩く。飲食店が徐々になくなり少し不安になってきたころ、目印にした小さな川を渡って右折したところに目的のお



校友のお店
イタリア料理とワインの店
luca(ルーカ)

ワクワクしながら
来店されるお客様に

北村 優典さん
(19年農卒)

店がありました。岡山の特産な事情で物件探しに苦労されたとのことですが、「結果的に隠れ家のようなお店になりました」と北村さんは笑っていました。

北村さんは農学部1期生。食品栄養学科には食品について熱い先生が多く、やりたいことを相談できる環境だったそうです。卒業後3年でお店を開くという夢があり、飲食店のアルバイトを探さ

れた時、フレンチとイタリアンの違いもわからないうちに飲食店に片っぱしから電話し、採用されたのがイタリアンだったそうです。在学中に調理師免許、卒業時に管理栄養士の資格を取得された努力家でもあります。

お客様のお見送りで出て来られた北村さんと挨拶を交わして店内へ。日曜日のランチタイムが終わる時間にとのお約束で



したが、20席ほどのアットホームな雰囲気の内装はほぼ満席で、お客様の笑顔が弾けていました。案内された席へ着くと机上にはウエルカムカードが。予約席には必ず一言添えているという演出は、おもてなしの精神に溢れています。調理しな

がらお客様と談笑されたり、スタツフも気さくに会話にに応じてくれるなど、「お店の雰囲気、料理の味、スタツフのサービス、すべてが大事」とおっしゃる北村さんの想いが詰まったお店です。

月替わりのコース料理は一品ごとに工夫が凝らされたものばかり。次の料理を待つ時間も、料理の説明を聞いている間も

ワクワクが止まりません。海のものも山のものもすべてがそうという岡山県産の食材を使ったり、グラスワインには必ず日本産を加えたり、食後の珈琲にはご自身が学生時代にほれ込んだ滋賀県大津市瀬田にある珈琲店から豆を取り寄せるなど、顔が見える生産者を応援したいという北村さんの想いをメニューから伺い知ることができます。

「月替わりのコース料理を考えるのは大変ではないですか？」と伺ったところ「何度も試作するので貸し切りが入っている時などは大変ですが、飽き性の自分にはちょうど良いんです」と笑顔で答えてくれました。

イタリア料理とワインの店 **luca**(ルーカ)
〒700-0904 岡山市北区柳町2-7-12
岡山市役所から徒歩5分
TEL 050-8884-3654
営業時間 17:30 ~ 22:30 (22:00L.O.)
日曜日 11:30 ~ (14:00L.O.)
定休日 月曜日

(清水 卓智)

仏教に学ぶ 浄土門 ここに始まる 照紅葉

西山浄土宗
総本山光明寺法主

沢田 教英



プロフィール

34年愛知県生まれ。57年文学部卒業。22年3月に西山浄土宗(総本山光明寺、長岡京市)第88世管長。西山浄土宗で初の尼僧の法主(管長)に就任。任期は5年間。光明寺法主を兼ねる。卒業後は、寺で学習塾を開き、子どもたちを指導した。裏千家の正教授として自坊の茶室「放光庵」で茶道を指導し、多くの生徒に慕われる。公益社団法人全日本仏教尼僧法団の副理事長・京滋支部長でもあり、京都仏教会の参事も務める。

総本山光明寺はその昔法然上人によりお念仏の教えが説かれた所であります。これに因んで正親天皇より(永禄年間)「法然上人ノ遺廟、光明寺ハ浄土門根元地ト謂ツベシ」との綸旨を賜っております。

私は昭和九年愛知県で生をうけ、七歳のとき父の早逝を機に「お寺にいけば甘い物が沢山食べられるよ。」という文字どおり「甘言」に誘われて京都の尼寺へやってきました。以来八十年苦しく厳しい時代もお念仏の信仰とともに生き抜いてまいりました。この度、不計も昨年十二月西山浄土宗総本山光明寺の第八十八世法主に推戴され晋山させていただきます。光明寺ハ〇〇年余の歴史の中で尼僧教師が法主に就任したのは初めてのことであります。永い年月がかりでしたが宗門のジェンダーフリー意識と沢田教英の存在が結実した瞬間であつたと思います。

仏教はお釈迦様が出家され難行苦行、瞑想によつて真理のお覚りを得られて民衆の苦悩に応じて対処され安寧な心地へと導いておられます。法然上人は九歳のとき受難による父上の死に遭遇されました。しかし、「敵に敵討ちをしてはならない」という亡父の遺言を守りお釈迦様の教旨でありました民衆を苦悩から救う法を求めて十五歳にして比叡山へと向かわれました。しかし当時の仏教とその僧侶は官僚組織であつたため一部の貴族や上流階級の人々に庇護され国家安泰や無病息災などを祈禱する特権的な存在でありました。一方で民衆は大地震や飢饉により洛中の辻々には屍が放置され疫病が蔓延し京



光明寺が建つ粟生広谷の里は、法然上人が初めて「南無阿弥陀仏」のお念仏の教えを説かれた場所です。総門の前に「浄土門根元地」と書かれた石碑があります。



念仏三昧院の時代からお祀りされているご本尊の阿弥陀如来立像は恵心僧都の作とつたえられており、法然上人によって開眼供養されました。

の都は地獄絵図さながらであつたことが「方丈記」にも記述されています。その中であつて法然上人は何とかこの民衆の苦悩を救済せんと勉強に努められますが、「如何にせん、如何にせん、また如何にせん」と自らも焦りと苦悩の日々が続きまし

しかし、何時か夜明けはやって来るものです。四十三歳の或る日のこと中国唐代の僧侶、善導大師の著書「観經之疏」の一文が目飛び込んできました。「彼の仏の願に順ずるが故に」仏の世界へは修行修学に励み自力にて近づけばかりではなく、阿弥陀仏の願いによつて既に私たちは救済の対象になつており、仏の側から近づいて来て下さっているという「本願他力」の

法に気づかれ凡夫往生の道を開かれました。来る令和六年はその凡夫往生への道が開扉されてから八五〇年の節目を迎えます。私は幼き日に人生の先行きもわからぬまま母と別れて尼寺の門を潜りました。これも予てよりの阿弥陀様の計りに依るものとは今は感謝の気持ちでいっぱいであり

法然上人によつて達成された仏教の民衆への開放とお念仏による女人往生の道が開かれ現代まで脈々と受け継がれています。私はいま法然上人の御本願(ご芳骨が納められた墓所)であります総本山光明寺の法主としてご縁をいただき、お護りさせていただきます。ありがとうございます。

- 龍谷大学卒業生の老若男女の方々をはじめ女性住職も少なくありません。あらゆる地域や職場で活動の場を拡げておられます。法然上人のお弟子であられました親鸞聖人はお念仏の教えの裾野を更に拡げられ大教団へと発展を遂げています。
- 世情不安の昨今、開宗当時のご苦労を思い両宗祖の普遍不易の教えを心に刻み日暮らしをしてまいりましょう。この度の貴誌投稿のご縁に感謝申しあげますとともに、母校益々のご発展と卒業生の皆様方のご活躍を祈念いたします。
- 私、長年師事してきた松下幸之助が、『自然の理にかなうこと』の大切さを語っておりました。「人間には、不可能なことが色々あります。不可能とはどういうことかというところ、所謂自然の理に反することが不可能だということなんです。ですから、その理に反して年をとっていくと願ったところで、それは絶対不可能です。」
- ですが、逆に言えば、自然の理にかなったことであれば、すべて可能であるということでしょう。つまり、人間関係や自然界との付き合い方になつていれば必ず事は成るといふことだと思ひます。
- この度の大雪波に遭遇し、松下幸之助翁の顔を思い出しました。
- (清水 卓智)

編集後記

- 今年定年退職される先生方
2023年3月31日
- 〔文学部〕
吉村 公宏 教授
- 〔法学部〕
石塚 伸一 教授
- 〔先端理工学部〕
國府 宏枝 教授
- 堤 一義 教授
- 森田 善久 教授
- レイトマス、ティン 教授
- 川上 肇 講師
- 前田 尚志 実験講師
- 〔社会学部〕
大塩 まゆみ 教授
- 〔農学部〕
宇山 満 教授